

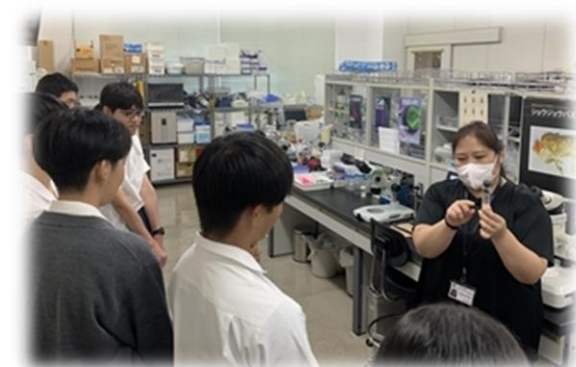
第3号では、8月、9月に実施した湯梨浜学園 SSH プログラム

についてご紹介いたします。

## 「中学3年 研究所訪問プロジェクト」

8月29日、30日の2日間、中学3年生は兵庫県内にある理化学研究所を訪問するプロジェクトを実施しました。

1日目は、**生命機能科学研究センター**（神戸市）を訪問し、生命現象と生命機能のしくみ、解析などの分野である生命機能科学の講義を受け、センターにて取り組まれている研究について説明を受けながら、理解を深めました。



また、本校 SSH 運営指導委員である高里博士の研究室を訪問できたことは、生徒たちにとってとてもうれしかったようです。高里博士には、ご自身の専門分野の講義のほか、ご自身の経験などを踏まえて、**研究者に必要なマインド**についてお話いただきました。

2日目は、**放射光科学研究センター**（播磨学園都市）を訪問し、世界最高性能の放射光施設である「SPring-8」、「SACLA」を見学し、電子から放射光、X線を取り出す仕組みとその利用によってこれからの未来が広がることについて学びました。



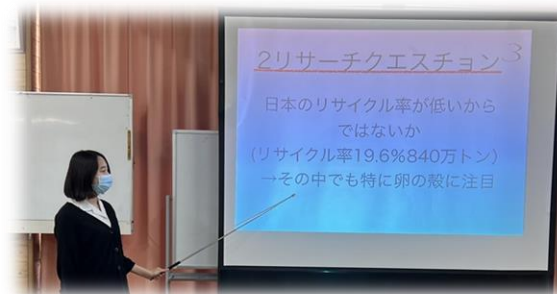
参加した生徒たちは、巨大な研究施設を目の当たりにし、教科書では感じることができない最先端の自然科学に触れることで、科学的探究心をますます高めたようです。目を輝かせながら研究者の説明に耳を傾け、質疑応答では、積極的に質問する姿が見られました。本研修が、『**驚きと感動**』に満ちあふれたものとなり、またとない貴重な経験となりました。ご協力いただいた研究者・スタッフの皆様に感謝申し上げます。

## 「湯梨浜学園課題研究中間報告会」



中学2年生から高校3年生までの課題研究48グループは、4月より「**環境保全**」を主研究テーマとして、それぞれが思い描く未来を想定して、探究に取り組んできました。この度、9月3日(火)は、これまでの活動について運営指導委員、保護者、全校生徒の前で中間報告会を行いました。

研究の深さや進み具合は、グループ間で差はあるものの、生徒どうし互いに発表を見合うことで、自分たちに足りなかった点や新しい視点を獲得することができました。また、運営指導委員の方からは、**科学者としての心構え**をはじめとし、これからの研究に関する様々な指導・助言を受けることができました。



指導・助言していただきました運営指導委員の皆様、保護者の皆様、大変ありがとうございました。今後の研究をさらに発展させたいと思います。



最終発表は、**令和7年2月8日(土)**、**倉吉未来中心**にて開催いたします。多くの方にご参観いただけたら幸いです。



### 主な課題研究テーマ

- 環境・自然 オオキンケイギクで地域活性化
- 環境・生物 東郷湖の絶滅危惧種を救う効果的な方法とは～ニホンウナギ～
- 環境・生物 山間地域の鳥獣被害軽減と駆除後の肉の利用
- 環境・地域 地元素材で科学的に名産品を生み出す
- 環境・独自 アルツハイマー型認知症の原因となるアミロイドβの抑制に“俳句日記”は有効に作用するのか